

市のパートナーとして、いつの時代も市民に寄り添う“まちのコンシェルジュ”を実現します

人生の様々な節目で拠り所となる、やさしく、頼れる複合庁舎
 市民の健やかで安全な営みを守る、健康と防災の地域拠点
 人と情報が交わり文化をつくる、札幌の未来を開拓し描く場所

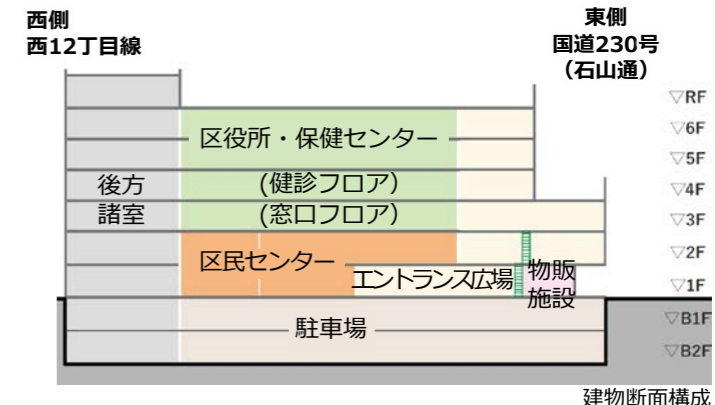


整備概要

階数：地上6階 地下2階
 延床面積：約 20,000㎡
 最高高さ：約 32m
 構造：RC造一部S造
 解体工事：令和4年(2022年)1月～
 新築工事：令和5年(2023年)1月～
 供用開始：令和7年(2025年)2月

施設構成

中央区複合庁舎
 ・中央区役所
 ・中央保健センター
 ・中央区民センター
 ・駐車場(来庁者用 約150台)
 ・駐輪場(来庁者用 約50台)
 ・物販施設



コンセプトを具現化する10の提案

1 優しさと品格を兼ね備えた市民に長く愛される庁舎



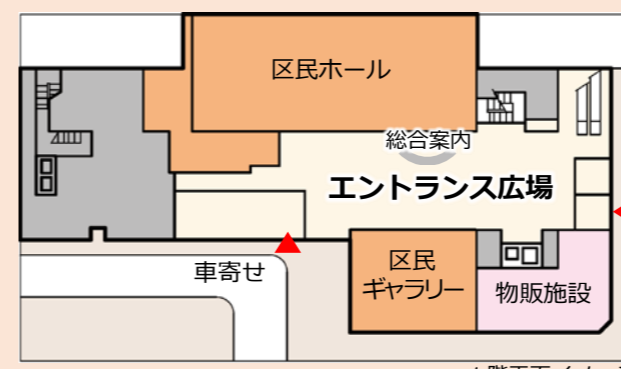
- ・周辺環境と調和する開かれた外観
- ・街の区角割を想起させるグリッドデザイン
- ・札幌時計台などで用いられている「下見板」をモチーフとした親しみやすいデザイン

2 来庁者を自然にエントランスに誘導するピロティ



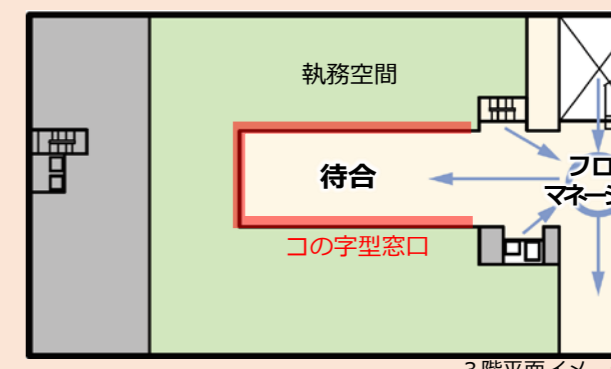
- ・まちに賑わいを表出する快適なピロティ
- ・下水熱を利用したロードヒーティングで安全で快適な歩行者空間

3 地域資材を活用した1階エントランス広場



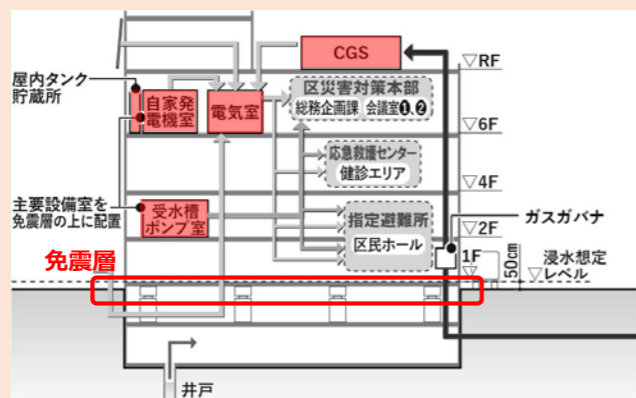
- ・市民をやさしく迎え入れる1階エントランス広場
- ・道産レンガや道産木材など地域資材を積極的に活用
- ・総合案内をエントランス広場の中心に設置

4 視認しやすくわかりやすい3階窓口フロア

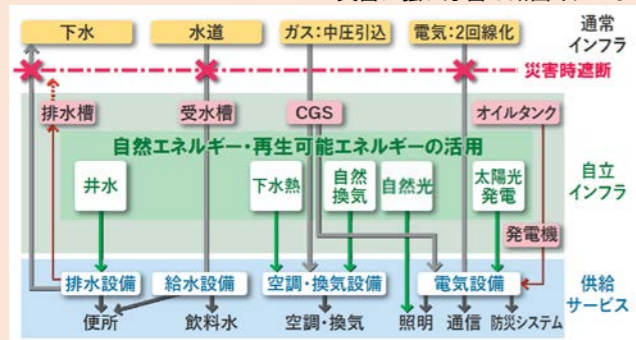


- ・コの字型配置の窓口で混雑時でも視認しやすい計画
- ・来庁者にわかりやすい位置にフロアマネージャーを配置
- ・業務内容の変化にもフレキシブルに対応する執務空間
- ・視認性の高い吹き抜け空間にエスカレーターを設置

5 災害に備える強固な地域拠点



災害に強い庁舎の断面イメージ

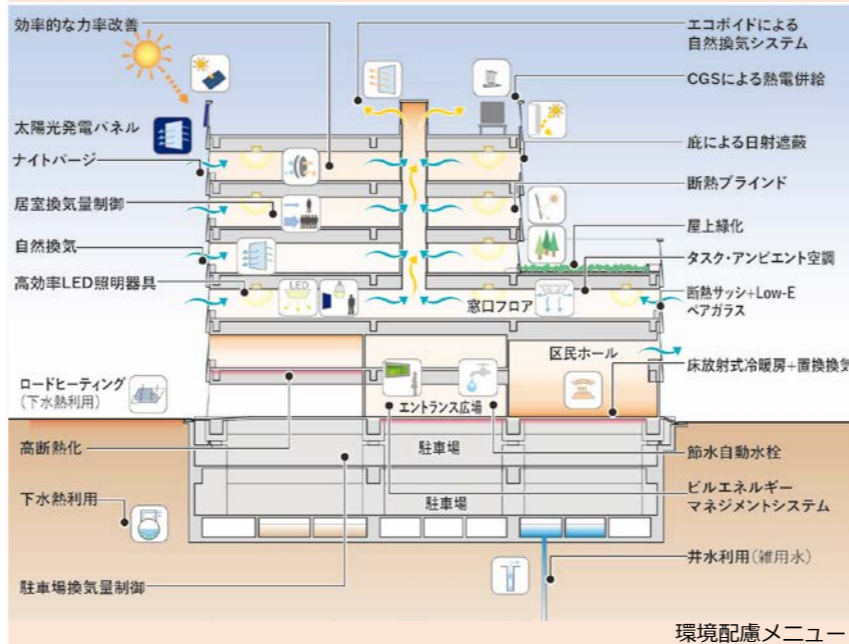


災害時のインフラの考え方

- ・地下1階柱頭免震により風揺れから大地震まで幅広い揺れを制御
- ・免震層の上部に重要なエネルギー諸室を配置し確実に機能維持
- ・災害時でも電力と給排水を維持するシステムの構築

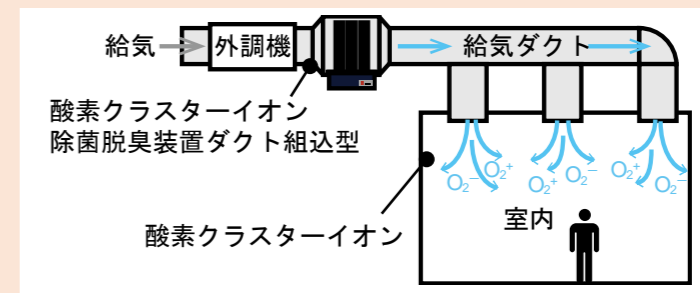
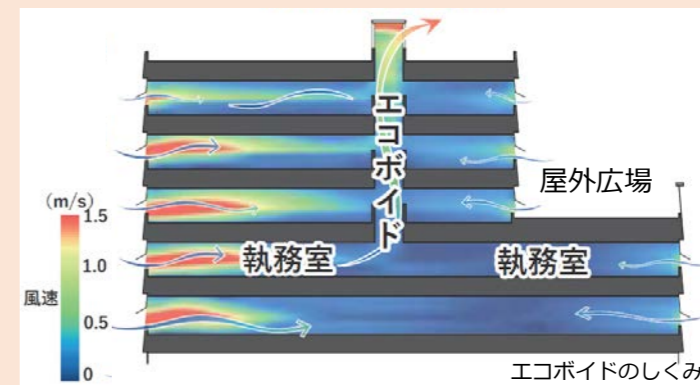
6 明るく快適でランニングコストを抑制するZEB Ready (※)

※ 一次エネルギー消費量を基準建築物より50%以上削減する建物



- ・建物躯体の高断熱化
- ・省エネルギー技術の導入と高効率機器の採用
- ・CGS・下水熱の未利用排熱を空調エネルギーなどに利用
- ・自然エネルギー活用（太陽光、井水、自然換気など）

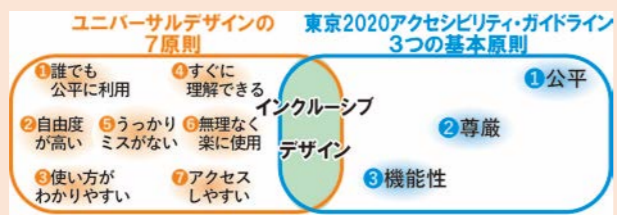
7 感染症対策



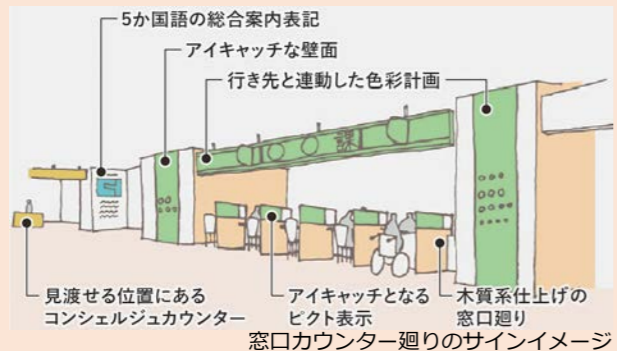
酸素クラスターイオン除菌脱臭装置のしくみ

- ・十分な機械換気量確保した上で手で開閉可能な窓と「エコポイド」を通じた自然換気
- ・空気中の細菌やウィルスの抑制に有効な「酸素クラスターイオン除菌脱臭装置」の設置
- ・“3密”を避けて憩うことが可能な屋外広場の計画

8 ユニバーサルデザイン・わかりやすいサイン

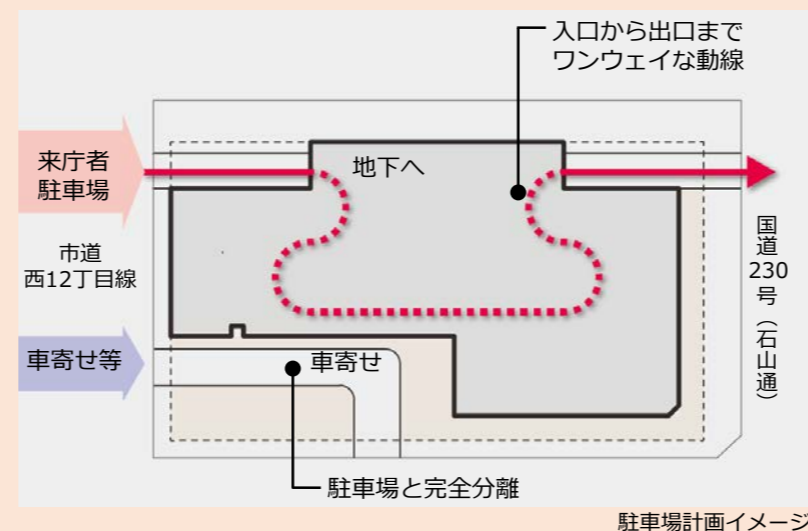


インクルーシブデザイン



- ・インクルーシブデザインに基づき、すべての人に優しい施設づくり
- ・車いす利用者や高齢者の方なども使いやすい施設づくり
- ・わかりやすいサイン計画（デザイン・位置・素材など）

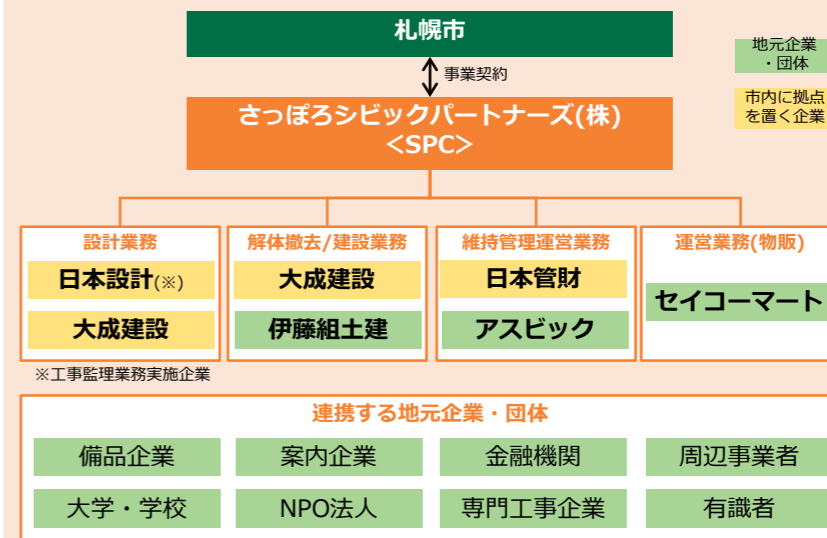
9 わかりやすく安全な駐車場計画



駐車場計画イメージ

- ・150台を超える自走式駐車台数を確保（地下1階～地下2階）
- ・入庫から出庫まで相互通行や袋小路がなく、一方通行で安全な利用しやすい駐車場
- ・1階車寄せはピロティに設け悪天候時でも乗降しやすい計画

10 地元企業と連携し、市民に寄り添う実施体制



- ・PFI実績を豊富に有する企業と地元企業が一丸となり推進
- ・設計～建設～管理運営の各段階で様々な地元企業と連携し、地域に親しまれる複合庁舎を実現する体制を構築
- ・地元企業の育成、地域コミュニティの形成等、幅広い視点から地域貢献を具現化